

平成30年度大学機関別認証評価委員会（第3回）議事要旨

1 日 時 平成31年1月25日（金）14：00～16：00

2 場 所 学術総合センター 11階 1112会議室

3 出席者

（委員） 濱田委員長、日比谷副委員長、ビール委員、稲垣委員、及川委員、片峰委員、片山委員、下條委員、近藤委員、里見委員、鈴木委員、土屋委員、中島委員、西尾委員、前田委員、松本委員、山本委員

（事務局） 福田機構長、長谷川理事、湊屋理事、山本研究開発部長、山本特任教授、戸田山客員教授、光田客員教授、佐藤評価事業部長、三浦評価支援課長

4 会議の概要

（1）評価結果（案）について

- ・ 平成30年度実施の大学機関別認証評価の対象大学5大学、大学機関別選択評価の対象大学1大学の評価結果（原案）について審議を行い、了承された。また、文章表現など最終的な修正は委員長に一任されることとなった。

（2）評価部会及び専門部会の編成について

- ・ 事務局より、専門委員選考委員会の委員構成と開催予定について報告の上、平成31年度評価部会及び専門部会編成（案）等について説明があり、原案どおり了承された。

（3）大学機関別認証評価における第三者の評価結果の活用について

- ・ 第三者の評価結果活用のための検討ワーキンググループ主査より、第三者の評価結果の活用について検討結果の報告があった。文部科学省及び他の認証評価機関の動向や大学の評価疲れなどについて意見があり、議論の結果、方向性が認められ、委員長より、機構事務局において規定化等の今後の運用をワーキンググループ議論まとめに沿って検討するよう、指示があった。

（4）今後の選択評価の在り方について

- ・ 選択評価の実施が減少傾向にあるため、今後の在り方について議論がなされた。各種ランキングへ働きかけられるよう評価に相対性を持たせる工夫や大学の個性を打ち出せる工夫の必要性、マーケットリサーチや大学の取組に対する客観的指標が乏しい中で有益な取組である反面アピールが不足しているとの指摘があった。一方で資源の集中という側面から、今後のアピールの結果によっては廃止を判断することも必要との意見もあった。

（5）その他

- ・ 事務局より、今後の大学機関別認証評価に関するスケジュールについて説明があった。また、

委員長より公表における所見について意見照会があった。

以上